



水素エンジンで水配送

東京都大は独自に開発した「水素ハイブリッドトラックII写真」を、横浜市水道局が販売する飲料水の配送車に使う実証走行を始めた。試験期間は21日から1年間。みなとみらい地区を中心とする横浜市内での走行データを今後の研究開発に活用する。

同大と同局が2011年2月に結んだ基本協定の一環。このトラックは水素燃料エン

東京都大と横浜市水道局 共同で実証走行

ジンとモーターを動力源とし、電気と化石燃料を併用する日野自動車の「ハイブリッドディーゼルトラック」を参考、同大が2年前に開発した。

ディーゼルエンジンを搭載するトラックと同等の動力性能で、宅配便や資源回収車などへの実用化に向けて、すでに北海道室蘭市内で実証走行試験を行っている。